

市指定文化財<彫刻>

きくちきゅうあんじぶつ
菊池久安持仏

指定日 昭和45年2月13日

所在地 菊池市隈府 菊池神社



仏の高さわずか3.3cmという超ミニ型の金銅仏の持仏で、初めて見る人には可愛い仏様といった愛着心を抱かせる。

この持仏はもと菊池氏の子孫の家に伝わり、近世に入って神社に奉納されたものである。

本像は阿弥陀如来立像で、背面に「嘉吉四巳正月」(1444年)「菊池久安入道静山居士」と二行に彫られた銘がある。光背は後で補われたものである。菊池久安とは菊池武安の別名と思われ、15代武光の兄武澄の子と伝えられている。この持仏は兜につけた念持仏であつたらしく、戦乱の世にあつては命を守る必需品であつたに違いない。箱書に「南無阿弥陀如来」とあり、信仰心が深かったのであろう。本像は頭から蓮台まで一度に鑄造し、金メッキされている。室町中期の嘉吉4年（1444）正月に作られたものである。